



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 28

2008.1.30 (No.2489)

第2560地区ガバナー／渡辺敏彦
会長／荻根澤隆雄
会長エレクト／中村和彦(クラブ奉仕A)
副会長／菊池渉(クラブ奉仕B)
幹事／杉山幸英
S A A／浅野金治
会計／山田富義

例会日／毎週水曜日12:30～
例会場及び事務局／
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:63名中49名
■先々週出席率:88.33%

【ゲスト】

・元クラブ中 ママ 中川正子 様

【先週のメイクアップ】

【1.28】三條南RCへ

・山田富義さん、西川文夫さん
・渡邊喜彦さん、菊池 渉さん
・石橋育於さん、五十嵐晋三さん
・五十嵐昭一さん、加藤紋次郎さん
・斎藤弘文さん、武田真二さん

【1.29】三條北RCへ

・斎藤弘文さん、五十嵐晋三さん
・加藤紋次郎さん、菊池 渉さん
・石橋育於さん、武田真二さん
・渡邊喜彦さん、西川文夫さん
・山田富義さん



「ロータリーは分かちあいの心」

2007～2008年度国際ロータリーのテーマ



シンビジューム

会長挨拶

荻根澤隆雄 会長



ご挨拶を申し上げます。

27日の日曜日、大阪府および大阪市では大きな行事といえますか、イベントが二つありました。

一つは大阪府知事選挙であります。結果は周知のようにTVなどで顔が売れておりました弁護士でもあります橋下氏の圧勝であります。それも開票まもなくで、余りにも早い当選速報が流れたことで驚きましたが、何れにしろ新たに大阪府政を預かる橋下氏の手腕に興味がありますし、職員の不正のない府政を構築して頂きたいと府民も願っていることと思います。

いま一つは大阪女子国際マラソンであります。トラックの女王とも言われております福士加代子選手であります。19位と云う結果に残念でしたが彼女の精一杯の走行に感動致しました。

無論記録を狙う或いは優勝して北京行きを決めたかったこともあるでしょうが、フルマラソン大会初出場の中で自分の能力を目一杯出そうとの考えからか序盤から飛ばした結果であります。勝ったら勝ったで凄いことになるのですが、私は駆け引きの無い走りそして転倒を繰り返しながらも走りぬいた彼女の姿に感動を致しました。恐らく本人も悔いは無かったことと思います。いやそうであると確信しております。自分に恥じぬ行動とはこのようなことかなとも知らされました。

挨拶を終わります。ありがとうございました。

幹事報告

杉山幸英 幹事

◎日本支局より

ロータリーレート変更のご案内が届いております。

1ドル 122円 → 2月1日より 108円に

五十嵐昭一さん、石橋育於さん、樺山 仁さん、丸山行彦さん、平原信行さん、松永一義さん、明田川賢一さん、若槻八十彦さん、熊倉昌平さん、会田二郎さん、高橋 司さん、船越正夫さん、佐藤 武さん、渡辺勝利さん、石月良典さん、小越憲泰さん、五十嵐晋三さん、田中 仁さん、野崎喜一郎さん、成田秀雄さん、金子俊郎さん
中川正子様、卓話ありがとうございます。
楽しみにしております。

1月30日分 ￥ 33,000
今年度累計 ￥922,000

ニコニコBOX

荻根澤隆雄さん

27日初場所千秋楽、白鵬と朝青龍、相星決戦大変に良かった!!

今日は中川様、卓話ありがとうございます。

杉山幸英さん

本日の例会場にパッと花が咲いたようです。

卓話ありがとうございます。楽しみにしております。

広岡豊作さん

中川様ご苦労さまです。夜のお客様の心のいやしを大いにお話してください。

小出子恵出さん

カゼが流行っています。

皆さんうがいの励行を!

中村和彦さん

先週、弥彦山へ登山に行ってきた。

いい汗をかきました。下山後の風呂は最高です。

佐野さん、橘さん、ありがとうございました。

佐野勝榮さん

1週おいて2週日曜日、弥彦山へトレニングを兼ねて登って来ました。冬景色がきれいでした。

今日はクラブ中 元ママの卓話ご苦労様です。

橘 直樹さん

27日に白銀の弥彦山を登ってきました。

天候にも恵まれ、楽しい1日でした。佐野さん、中村さん、ありがとうございました。

菊池 渉さん

先週、出雲崎でタラを食べてきました。スケソウはダメでしたが、マダラは美味しかった。

川瀬康裕さん

日々に感謝し、BOXに協力します。

中川様の卓話楽しみにしております。

浅野金治さん

スマイルBOXに協力して。

2月のお祝い

◎会員誕生祝

- 4日 荻根澤隆雄さん
- 6日 高森章仁さん
- 8日 石倉政雄さん
- 17日 加藤紋次郎さん
- 20日 金子俊郎さん
- 20日 石塚欣司さん
- 26日 斎藤弘文さん



◎夫人誕生祝

- 1日 田中真弓さん (仁)
- 9日 藤田幸子さん (絃一)
- 9日 長谷川美智子さん(有美)
- 13日 五十嵐浩子さん (浩)
- 14日 坂井豊子さん (庚司)
- 22日 斎藤千也子さん (真澄)
- 24日 松永シゲミさん (一義)

◎結婚記念祝

- 7日 小林敬典さん(由美子さん)
- 12日 石月良典さん(道子さん)
- 25日 斎藤弘文さん(昌子さん)

卓 話



元クラブ中ママ 中川正子様

只今ご紹介頂きました中川正子でございます。何十年振りかの大勢のお客様にお会いして今、心が舞い上がっております。見かけによらず気が小さくて昨日は良く眠れませんでした。途中でお話がき

っと途切れるだろう、そしたらどうしたらいいのだろうか、その時は知っているお客様のどなたかが助けて下さるだろうかと、とか、今朝になったらここへ来ないでどこかへ行ってしまいたい気持ちだったのですが、そうしますと敵前逃亡したことで三条に居られなくなるので、覚悟して拙いお話をさせていただこうと思って参りました。

私は、昭和18年8月4日生まれ、昨年12月に卓話来られた「ローズマリー」のママと同じ年なんです。あちらは早生まれで学年は1年上ですけれども、女性というのはだいたい60歳位になりますと、ああいう優しそうで綺麗な方と私のようなタイプに分かれるようです。もう何十年ものお付き合いの松永さんから、「ママ、是非来てくれ」と去年ぐらいからおっしゃっていただいていたのですが、最初言われた時本当に困惑したんです。皆さん現役でご活躍しているわけですし、私はもう十数年前に現役を引退し三条の方でもご存知ない方もいらっしゃると思う片口という所で専門ババをしているわけです。何か良い事をお話したいと思ったんですが、こういう三条のスペシャリストの方々の前でお話できることは私が30年近くやらせて頂いた「クラブ中」での経験したこととか、出会ったお客様のことしかないと思いました。固有名詞を出さず皆様が今晚から本寺小路でもっとももっともてますように「こういうお客様は嫌われます」というお話をさせていただきたいと思います。

人生ですから色々な事がありました。私が小さい頃本寺小路というところは「子供はあまり通っちゃいけない、学校へ行くのも道はこっちの他の道を通りなさい」と両親から言われるところでした。今から6~7年前にでも本寺小路は華やかで、芸者さんもいっぱいいらっしゃいましたし、私の母もちょっと三条の花柳界で芸者をしていた事がありました。当時の方はもう誰もいらっしゃいませんが、そのときの名は「鯛子」だったそうです。佐渡家さんという置屋の芸者さんは全部お魚の名なのだそうです。母は、色が白く、ぽっちゃりしていましたので、と

でもイワシとかサンマのタイプではないのでそうだったのかと思いました。母は芸事の大好きな人で、自分が好きなものなので、私は男兄弟の中でたった一人の娘でしたので私に向いていないのに「日本舞踊を習いに行け」とか「あの稽古をすれ」とかすごく言われ、とても嫌だったものです。今はお辞めになった「遥」の亡くなったママのお母様の「亀次姐さん」などは、私の子供心にもスターだった方で、お着物姿で本寺小路を歩いていらっしやると「わー素敵だなあ」という感じでした。それから何年かたって段々とバーとかクラブが沢山できるようになりました。私は、兄がママを雇ってお店をやっていたんですが上手いかわなくて、その兄から「正子、一年間だけやってみてくれ」と言われ、手伝い始めました。やるからには一所懸命やろうと思い、それから毎日頑張ってやっていました。そして一年位したら、自分が抜けては成り立たないお店になっていたのです。それで、とにかくそのままなんとなくやっていました。でもまったくのズブの素人でした。どうして大人になれたかということ、一番は従業員からだったのですね。「こういうお店ってどういう事が仕事なの」と言うところから私は始めたのですが、「ママ、教えるから大丈夫」と言われ、名前だけはママですが、何も判らない訳ですよ。「とにかくお客様におしほりを出しなさい。お客様がトイレに行って来られても、お店に入ってこられても、まずおしほりを出す事が大事なのです」と言われ「ああ、そういうものなんだ」と思いました。今のようにおしほり器なんてない時代です。アルミの蒸かし釜におしほりが入れてあるんです。ある時カウンターにいて、ふと目を上げたらうちの従業員がトイレから出てきたので、「はい、おしほりです」と言ったら、「何してんです」と言われ「トイレから出た人みんなに渡すんですよ」と言ったら、「それはお客様にです。従業員同士でそんな事やってはいけません」と教えてもらったり、またお客様が「ママ、何か飲む？」と気を遣って下さり「ブランデーをいただきます」と言いながら、当時は忙しかったもので一口も飲まないうちに他のテーブルのお客様に呼ばれると、ぐっと飲むと酔ってしまいますし、勿体無いから他のテーブルに持って行きましたら、ボーイさんに呼ばれ「ママ、何やってんですか!」、「だってあちらから高いもの頂いたのに、申し訳ないから」と言ったら、「そういう事していると売り上げにならないですから止めて下さい」と本当に冗談みたいですが、そういう事の繰り返しでした。でも本当の先生はお客様だったと思うのです。今でも幾つか本当に心に残っている

ことがあるのですが、「ママね、どこで修行したわけでも、どこのお店出身でもないから分からないと思うけど、お客というのは同じ客でも飲む時々によって違うお客になるんだ。今日は悲しくて飲んでるのか、苦しんで飲んでるのか、自棄になって飲んでるのか、嬉しくて飲んでるのか、それをちゃんと察知するのが、あなたの仕事なんだ。それを早く判るようになりなさい」

まあ色々の事があったのですが、何で続けられたかということ、お客様の「頑張れよ」です。色々な事、挫折そうな事がある中で、本当に優しい方は色々言ったり訊いたりなさらないですよ。ただ「頑張れよ」と言う言葉に支えられてきました。現役の頃、1年のうち2・3回、床に入ったとき「あー今日は良い仕事したなあ」って、あのお客様にもこのお客様にも喜んでいただき、「楽しかったよ、また来るよ」と言われ「こういう仕事を毎晩出来る様になりたいなあ」という部分だけが自分を支えてきたのだと思うのです。でも最近たまに、一年に何回か「ヴェールクラブ」という娘のお店に行きますと、まるで色んな事が様変わりなのですね。例えばお客様が「君もビール一杯どう?」、「いえ、私お酒飲めないんです。ウーロン茶頂きます」また、例えばキープして頂いているボトルが少なくなってきたお客様が「今日、ボトル入れてあげるから飲んでもいいよ」と仰っても、「私飲めないんです」と言うので、「あーこのホステスはお酒が飲めないのか、車で通勤しているのかなあ」と思ったのですが、私達の仕事では「アフター」というのがありまして、仕事が終わってから従業員は好きなお客様と他のお店へ出かけるんですね。お店でこのお客様は大切にしたいという人は気を遣うので、自分の気が楽な人と出かけるんですね。たまたま私も他のお店へ行っていてその従業員を遠くの席から見えていたら、うちのお店に来ないお客様と飲んでいたんですね。お店の仕事なんかそっちのけで他所から電話があり「今日何時に何処どこのお店に来いよ」と言われると、そういう従業員は行ってしまいうんですね。その従業員はカクテルを浴びる様に飲んでるんですね。「へえー」と思い、帰ってから娘に「今日、あの従業員はお店で一切お酒を飲まないのに、他では浴びるように飲んで、酔っていたのよ」と言ったら、「今の従業員は皆そうよ、でもママの感覚で、あれが悪いこれが悪いと言っていたら、明日から一人も従業員は出てこないから、言わないでちょうだいよ」と言われ、「あー、そういう時代なんだな」と。私どもがやっていた頃は、皆な独立したくて、ママになりたくてお店で働いてい

たんですね。それと女性が離婚して子供をかかえて働ける仕事というのは、いわゆる水商売しかなかったような時代でしたね。そういうと皆必死なんです。誰が先に独立するか。うちも毎年毎年次々とスナックとかバーで、独立していきました。その時は勿論その子を気に入ったお客様がついていきました。円満退社しなくてもお客様は1回行こうとか、1回が3回、10回になったりするんですけど、もっと頭の回る従業員ですと他の従業員を連れて独立するんです。でも従業員の引き抜きといっても、やはり人間同士ですから働く人同士の繋がりというのは、物凄く強くてこれが私達の仕事の業みたいなのですが、女性が女性の従業員を叱ったり、何かを注意した事は、10年たっても20年たっても「あの時ママに、ああいわれた」と絶対覚えていて、それを言うんです。でもそれがマネージャーとかマスターといった異性の言ったもには許されるというようなことは多くありました。私はまるで鬼みみたいなママかと思うのですが。パソコンで「水商売」を調べましたら、「水商売は先の見通しが立ちにくく、世間の人気や志向に多く依存した不確定な業種や職業、およびそういう事業に従事する人達」とあり、私はすごく納得したんです。それは皆様のお仕事も円高、円安のすごい影響があるでしょうが、本当に頼りないというか今日もし従業員が2人3人一緒に辞められたらお店が開けられないんです。これは本当に言われる通りだなと思いました。今日此処でお話しさせていただこうと思ったことで何年振りかでちょっと本を読んだり、いろいろな事を注意深くみたり、また先ほどお食事を頂きながら、皆さん、皆立派な会社の社長さんとかでいらっしゃるのに、お茶を淹れたり、食事の後始末されたりするのを拝見していますと、私達のナイトクラブと違い、ロータリーとかライオンズの奉仕クラブというのは凄いいところなのだと思います。皆さんここにおい出になり勿論楽しい事もいっぱいおありでしょうが生意気な言い方ですが、人生の修行をしておられるのだとほほえましく、ビックリもしておりました。

さて、嫌われるお客様の反対は好かれるお客様で、今から十数年前、現役の時に三条の南ロータリーから「水商売、夜のクラブでいかにもてるか」という題で話してくれということがありました。「もてる」というのは皆様はお店で楽しくお酒が飲めればもてたという気がなさるのでしょうか。ところがお店ではあまり冴えないようなお客様で独身の女性が朝、目を覚ましたらベッドの隣で眠っているという方がいらっしゃるんです。そういう方はお店では本当に

めだたないのですがまめなんです。飲みに来られる目的が違うのです。はっきり言ってこの娘が気に入った、何とかしようだけに集中しているんです。だからほかの事はどうでもいい、話もどうでもいいみたいでその娘だけという感じです。でも女性にとってあなただけというのは嬉しいですからあの方はお店にとってあまりためにならないし、困るなど思ってもそういうお客様は人気があるのです。そして、エー今度はあの娘と？、と同じ店のなかでもあるのです。

また、お客様と、振ったの振られたとの関係になると女の娘はなんとなくお店も嫌になり辞めていく娘が多いのです。そういうことが重なると何処のママもその方を出入り禁止とかいってしまうことがあります。困ったお客様は色々いらっしゃいますがボトルをやたら注ぐという方がおられます。そういうお客様を痛客・つうきゃく、居たい客と言うんです。ウイスキーや焼酎をグラスにガンと注ぐお客様はこちらが飲まないと言いますが、でもそこで飲むと潰れてしまうんです。潰れると仕事になりません。そういう方も困りますが私が初めていらっしゃった方に御挨拶をした時、パッと顔を上げると、「アッ、俺お前嫌いだから来るな」とおっしゃる方がいらっしゃるんです。私だけでなくお店の従業員にも、それが綺麗な娘でもその方のフィーリングに合わない俺、お前嫌いだからと言う方もおられます。それと関心を持っていただくのはありがたいのですが、お化粧品とか着る物とかを物凄く細かく言いたいお客様もいらっしゃいます。銀座じゃそんな着物を着ていないといわれても私共は銀座と同じお金を頂いていないのでなかなかそれは出来ないことです。また、前に飲んだお店と比較をなさったり、そういう方は次のお店に行くとき必ず私のお店のことを言われるのですごく気を遣いますね。また私達の場合、お座敷と違い個別の場所で飲んでおられるわけでありませぬので、これは燕の方に大変多いのですが、来られるときは別々の人たちが、帰るときは一緒に帰られるのです。いつのまにかあっちに座られたりこっちに座られたりするのです。私共は、伝票をどちらにどれを付ければいいのか判らなくなるくらいテーブルで交流し帰られる時はサッと帰られるんです。私は二十幾つの時からわけも判らないままママの仕事をさせていただいております、その頃JCの方々も多く来て頂いたのですが、三条の方に「中」は燕JCのクラブだと言われるくらい燕の方が多かったのです。「三条の人間は来ても片身を狭くして隅にソツとしているんだぞ」といわれるくらいでした。燕の

方は輸出の仕事が多いというか三条の方と全然物の見方が違うようでした。また内緒話ができないくらい大きな声で店の中でお話になるので静かな雰囲気は駄目になり、そういう方がおられると来られた方でも店のドアを開けてもすぐ戻られるということも多々ありましたが、私も若かったのでああいう元気のいいお客様に色々言っていただいたり、教えて頂いたりした事はとても楽しかったし、いい思い出がいっぱいあります。先日、二洲楼さんで三条信金本店の新年会があり、風邪を引いた娘に代わって3、4年ぶりに出席したのですが懐かしい方が多くおられました。

中條さんと笠原さんにお酌に行きましたところ、「ママ、3、4年も来ないから死んだと思ったよ」といわれました。それでああ、この方がJCを卒業するかという頃は私も二十代で、この方たちも三十代後半だったんだなあ、お変わりなくお元気に見えても時間というのは恐ろしいもので、ふけられたなあ正直思うわけです。「お変わりありませんね」と言っておりますがこちらが思うのですから笠原さん達もババアになったなあと思っていられちゃるのでしょうか、気を遣ってくださり「相変わらず元気だね」とおっしゃってくださるんです。年をとるということはこういう風に言葉をオブラートに包んでお互いに話すようになるんだと感じました。そこへ出席してとても楽しかったので、片口で羨んでいないでたまには大勢の方の所に出していただくのは私自身の精神衛生上いいのだと思い、今日は勇気を奮って参りました。

先ほど此処にいらっしゃる川瀬先生にお礼を申し上げたのですが、私は4年弱程前に新潟の桑名病院で手術を受けました。それは大洪水の年で車の運転中にとっても苦しくなり、救急車を呼びましたが時間外でしたのでお店に来られる内科医のお二人の名前を告げどちらへでもということをお願いし担ぎ込まれました。吐き気止めの点滴をしてくださったようですが「どうでしょうか」とお伺いすると「今年はこの患者さんがすごく多いんです。暑いし、大水のため、過労か耳の中の病気ではないでしょうか」でした。検査も何もなく仕方なかったのですが翌日から歩けなくなりトイレへも這って行くほかありませんでした。娘の知人のお医者様に相談したところ、すぐに調べてもらえ、川瀬先生のところへ行くようにとのことでした。先生のところに1週間ほど通院し点滴をしてもらいました。検査の結果、左の大脳の血管が狭まっており、また、左目の奥に動脈瘤があるということでした。1つは血行を良くしなければ

ばならないし、1つは血行をよくすると破れることがあるから1つの病気を外科的な処置で、1つは内科的にお薬の投与で治さねばなりませんと言われました。どちらの病院がよろしいでしょうかとお聞きしたら、あなたの場合は新潟の桑名病院をすすめますという事で、新潟の病院を紹介していただきました。先程、川瀬先生の所へ参りましたら、「やあーあんまり変わってるし…」それは、私も含めて私達の業界の女性の昼の顔は見ていただきたくないんです。眉がなかったり、目がなかったりとても悲惨なんです。たまに他のロータリーの方で保険屋さんが契約のことで自宅へいらっしゃると、娘とか従業員がすっぴんで請求書を書いたりしている時があるんですが、そうすると「こんな眉の無い顔をみて、とてもじゃないが夜あんなお金を払って飲みに行く気がしない」とおっしゃる位、昼はすごいんです。でも、お化粧してなんぼの世界ですから、お化粧した時の女性で許して頂きたいと思います。

話がとりとめも無くすみませんが、私、今自分のすごく大切な言葉とか心がガンとなっている言葉を最近ある方から教えて頂きました。ご存知の方も多いと思いますが、聖路加病院の名誉院長でいらっしゃる日野原重明先生がお子さんに「先生、命とは何ですか」と尋ねられた時「命とは貴方が使える時間のことです」とお答えになったのだそうです。私も色々な病気をしてきたりして、「あーやっぱりそうだな、命って漠然としていますが、私にこれから残された使える時間なんだなあ」これはどなたにも一緒なことで、一日一日死に向かっているわけですから、どうぞ一日一日を皆様に本当にお元気で過ごして頂きたいと思うのです。

そして、今日本当は、このお願いの為に伺ったのですが、ご多聞に漏れず本寺小路も現在、大変地盤沈下しております。理由はいろいろあると思いますが、一番は私たちの努力というか、お客様に来て頂ける魅力が無いんだと思いますがキャバクラがものすごく増えまして、キャバクラというのはキャバレーのような時間制の明朗会計でクラブのような高級な雰囲気があるという意味の造語です。キャバクラが何で困るかと言いますと、外で客引きをするんです。ご存知のように、本寺小路を男の方だけで歩けないんです。スーツと寄ってくるんです。キャバクラもありますし、風俗営業という日なマッサージをするような女性が立っていたり、そういうところの客引きもいっぱい立っているんです。これも大きい原因だと思います。サントリーの方が言っていましたら、全国的に盛り場の調査をしますと、ああ

いう外に客引きが立つようになるとその盛り場は非常に衰退していくという統計があるんだそうです。でもあちらも必死ですから。でも今回迷惑条例というものができて、そういうことも若くてバリバリの国定市長がやってくくださるかと期待しているのです。

今日皆様に本当にお願ひしたいことが一つあります。この厳しい本寺小路をお一人お一人の暖かい愛と本当にいろんなお気持ちで、他でもお飲みになる機会が沢山おありかと思ひますが、体も心もお財布も本寺小路に向けていただひて一回でも多く三条でお飲み下さいませ。そして、三条の夜の街を、うちの店とは言ひませんが、どのお店でも応援して下さることで必ず活性化できると、皆で頑張っております。心からお願ひします。その為には皆様が心身共にお健やかでそして殿方としてますますジンジンとしていらっしやいますように。どうぞ枯れないで下さい。ジンジンでいやらしい男性でいらっしやいますよう祈念しております。

今日は本当に拙い話をお聞きくださりありがとうございました。



三条ローターアクトの活動

《活動報告》

◆ 1月26日(土)～27日(日)

地区行事 白根RAC主催「ハッピースキー イン 池の平」(ロッジ今井にて)

毎年恒例の行事となっている白根RAC主催のイベントが、妙高池の平スキー場に隣接するロッジ今井にて行われました。他クラブのアクト会員との交流を目的としたイベントですが、楽しいゲーム等を通して、終始和やかな雰囲気です。

◆ 1月31日(木) 19:30～21:00

三条ローターアクトクラブ1月第二例会 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)

例会テーマ「地区大会に向けて」

《今後の活動予定》

◆ 2月13日(水) 19:30～21:00

三条ローターアクトクラブ2月第一例会

移動例会 (長久の家にて)

例会テーマ「長久の家の寮生との餅つき交流会」

◆ 2月17日(日)

地区大会 リハーサル①

◆ 2月24日(日) 10:30～12:30

第三回会長・幹事会議 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)

◆ 2月28日(木) 19:30～21:00

三条ローターアクトクラブ2月第二例会 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)

例会テーマ「長久の家の生活支援員に卓話を依頼」

◆ 3月2日(日)

地区大会 リハーサル②

◆ 3月8日(土)～

地区大会前夜祭 (燕三条ワシントンホテルにて)

◆ 3月9日(日)

地区大会

◆ 3月13日(木) 19:30～21:00

三条ローターアクトクラブ3月第一例会 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)

例会テーマ「三条北ロータリークラブに卓話を依頼」

◆ 3月23日(日) 13:00～16:00

中越分区合同例会兼地区代表公式訪問 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)

◆ 3月27日(木) 19:30～21:00

三条ローターアクトクラブ3月第二例会 (リサーチコア4階 異業種交流プラザにて)

※ 2月・3月の例会は、通常の日程で開催することはできませんので、ご了承願います。

(2月は長久の家の都合上、また、3月は地区大会開催に当たり、日程を変更させていただきます。)

次週例会 2月13日 会員卓話 日戸平太 会員

次々週例会 2月20日 外部卓話 庵地焼
旗野佳子 様

